

天草方言の珍語萬語

〔天草方言集〕より抄録

あくわーんとしとる（口を大きく開けている）
あぐっちゃけ（口を大きく開けろ）
あしふみざきんなか（踏み入る隙間がない）
あすーっさるく（遊んで回る）
あすっぎゃどんけーなー（遊びにでもおいでよ）
あすびぎゃくるけん（遊びに行きますから）
あちゃんなる あてんなる（邪魔になる）
あっちゃこっち（反対に あべこべに）
あぶにゃーうっちんとこじゃった（危うく死ぬところだった）
あぶらすむる（精油する） あゆっけ（歩いて来い）
あんつれんとんとんとつれんとん（あの種のものが滅多に釣れないのだが）
いたちくうたい（行ってきますよ）
いたちくって（行ってきますから）
いどりがく（汚れの跡が付いている）
いっかかってかたづくる（総動員で片付ける）
いっかかる（降り掛かる）
いっちゃんこられんとん（全く来ないが）
いらりーろ いらりーろ（要るだろうか）
いれっくれらりいろ いれらりーろ（入れてくれるだろうか）
うしのうた（無くした 紛失した）
うんずりめんずり（次第に 徐々に その内に）
うんぶくるい うんぶくるる（溺れる）
えずらしか（不気味だ 大仰だ）
えだんいたか（肢が痛い 肩が痛い）
えっとんこたなか（大したことはない）
おずーだ（目を覚ました）
おぜーこつ（大変気の毒なこと）
おととととたー（奪っているのだよ）
おめーてみろ（大声で呼んでみろ）
おりゃわりゃ われわりゃわりゃ わりゃちゅうもねわりゃ
わりもわりゃおれわりゃわりゃわりゃ ちゅわじゃわりゃ
（俺はお前のことを「お前・お前」と気安く呼ぶんだから
お前も俺に「お前・お前」と呼んでくれよ）
かーんかんちーた（蚊が刺した）
かきくーけー（柿を食べますか）
かじえぐすんのかじえひーとる（薬の薬効がなくなっている）
かっくわんかん（柿を食べませんか）

かつとしゅう（次々に）
がまじゃーてきばる（精を出して働く）
きいっくって（聞いて来るから）
きくどもん（利くだらうね 利くと思うよ）
きたらうば（来たならば） きたらうもん（来たのでしょうか）
きばらすばいな きばんなすか きばんなっせ（勢が出ますね）
きゃーほりぎゃいかんきゃー けーほりげーいかんけー
（貝掘りに行かないか）
きゃーしんみゃー（裏返しに）
くいーくいーさるくな（食べ歩くな）
くーっくー（食べてこよう）
ぐーらしか ぐらしか（愚かしい 可愛そうだ）
くっちゃろかい くりーろ（来るだろうか）
くっだっど くだっどもん（下さるだろう）
こけけ ここさんけ（ここに来い）
ごちゃんいたか（五体が痛い 背中が痛い）
こんくらしゃー（このように暗いのに）
こんてんとんとんととれんとん
（この型のものが殆ど捕れないのだが）
こんやだこんや（今夜にでも来ませんか）
さかさみやなす（逆さにする 天地逆にする）
ささっととさい（刺さっているのだよ）
させんせんせん（させてくれないからしない）
さっささっさんせんじゃん（手早くなさらないからですよ）
さっしーろ さりーろ（なさるだろうか）
さりく さるく（歩き回る） さるくったー（歩き回るのだ）
さんくりかえる（転倒する 転げ回る）
しーとる（好きだ）
したもねーろ（した方がよいものだろうか）
じゃからじゃま じゃらじゃま（違うないよ）
しゅうーだ（しましろう することにしよう）
しゅうみゃーだ しゅうめーだ（しないことにしよう）
しゅうれ（吸え）
ジョンがごたつとじょん（幼い子どもみたいだよ 幼稚だよ）
しんのしまり（最終的に）
すーした（空気が抜け） すーする（空気が抜ける）
すーすーするせんせけ（隙間風が入るから戸を閉めろ）
ずーり（沿って 伝って）
ずーんする（体温が急に下がる）
すっちやいろ（するのだろうか）

すっちゃんかいや (するのではないだろうか)
すっどもん すっちゃんろもん (するのでしょうか)
ずるずるづる (次々と出る)
するせん (しますから) すっちゃん (しるんだ)
するみゃーもん (しないでしようよ)
せーてせかん (急ぐが緊急ではない)
せせらせられん (触れさせる訳にいかない)
せっくわんくわんかん (赤飯を食べないか)
せにゃん せんぼんと (しなければならぬ)
せんちゃんろもん せんどもん (しないでしよう)
せんもん (しないでよ)
そびっこむ (引きづり込む)
ぞんぞろびく (だらしなく引きずる)
たたったたー たたっととたー (崇っているのだ)
だんだんなー (有り難うね)
ちーっくれ (注いで下さい)
ちーっけ (同行しなさい 付いて来い)
ちちーちーとと (父に付き添っているのです)
ちーんちーとる (血が付いている)
ちゃんくわら (安物 不良品)
ちゅうりこうり (ちょっとやそつとでは)
ちょうじょう (重畳 ありがとう)
ちよっこらちよーと (短兵急に 性急に)
ちんかジョンととんかジョン (小さな坊やと大きい方の坊や)
ちんかも (仲睦まじい関係)
つこきゃーた つっこきゃーた (落としたり)
つっくわんげた (抜けた)
つったとんなな (呆然と立ったままでいるな)
つっぱったっじゃがや (落ちたのだ)
つらなし (照れ屋 恥ずかしがり屋)
つんつらかす (摘み散らす)
つんつるてん (つるつるに禿げた様子)
つんなもだ (連れ立って行こう)
つんぶるう (振り解く)
てーげてーげでよかてー (大雑把でよいのに)
とうかとな どうかっかな どうかんな (遠いのですか)
とうつたあつ (一つ二つ) どうりたーり (一人二人)
ととととー とととと
(取っているのですか 取っているのです)
ととととともととと (取っているとでも思っているのか)

ととこれかたまれ（一カ所に集まれ）
どぼくるる（先端が潰れる）
なかなかなかな（案外と無いね）
なわのうた（縄を編った）
なんかたなかかな（長いのは無いですか）
なかなかなかな（何か無いか）
なんぎゃとととたー（投げ遣っているのだ）
なんしゅうに（何をしようか 不要だ）
なんなんな なんなんかな（何々ですか）
ぬーだろにゆう（飲んだら寝よう 飲んで眠ろう）
ぬーどっど（酒を飲んだな）
ぬーんみゆうだ のーんみゆうだ（飲んでみよう）
ねぎる ねぎっとる（睨み付けている）
のすこっじゃか（耐えられない 我慢できない）
はちくる（こちらから行く） はちけ（おいで）
はってく（果て行く 逝ってしまう 行く 死ぬ）
はってけ（もう行きなさい） はってこ（もう行こう）
ばなかなかな ばななな ばななばな（バナナですか）
はよペー（急いで食べなさい）
ぱんかな（食べませんか） ぱんとか（食べないのか）
ぱんなろぷう（パンなら食べる）
ぱんばらげ（視界の妨げがない）
ぴーなっせ（召し上がれ）
ひっちゃかましか（うるさい 面倒だ）
ひっちゃこっち（逆さに）
ひのいちんち ひのいっちんち（一日中）
びるのもだ びんのもだ（ビールを飲みましょう）
ぷーてみろ（食べてご覧） ぷーとか（食べるのか）
ペー（食べる）
へきんいたか（肩癬けんべきが痛い）
ぼーかい（食べようか） ぼーだな（食べましょうよ）
みーみーせろ（時々見張れ）
みーっぱとんな（何もしないで眺めているな）
みかんばんのよか（見栄えがよい）
みがんのゆうなりやした（気候が穏やかになりましたね）
みゆうみゃーもん（見ないだろうよ）
むーらしか（蒸し暑い）
めしゃぱん ぱんなろぷう（ご飯は食べない。パンなら食べる）
めのもーた めんもーた（目眩がした）
もーたーんもーとる（モーターが回っている）

やもももすももももものうち (山桃もスモモも桃のうち)

やーたやーくわんやー (焼いたバリは食べませんか)

やいやまたやーやー やーたやーはくいやーた

(おやおやまたバリですか 焼いたバリは食べ飽きた)

ゆうっかする (言って聞かせる)

よかろうもん (いいでしょう)

よかろうで (いいだろうに)

よしーしていっちょる (よいことにして我慢している)

よったーり (四人) よっどっど (寄っているのです)

わーがわーがでわーがよかごていっちえろ

(各自で好きなようにするがよい)

わせんむごどん (春雷 稲妻)